

登録コード	MA008100	開講年度	2026			
授業科目名	周麻酔期看護学特論Ⅰ				担当教員	田中 聡
英文授業名	Special Lecture in Perianesthesia NursingⅠ				副担当	石田 高志・伊藤 真理子・石田 公美子・田中 竜介・丸山 友紀
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	・不定期	対象専攻／学年
講義室			授業形態	講義	授業科目区分	(周麻酔期) 必須科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇄	
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				⇄	科学的根拠に基づく看護ケアを実践するために、患者がかかえる麻酔リスクを正確に評価できる。
(2)授業の概要	周麻酔期看護を取り巻く現状について理解する。 また、科学的根拠に基づく看護ケアを実践するために、麻酔に伴う生体反応に対する麻酔管理について必要な基礎知識を習得する。 担当教員の麻酔・周術期医療の実務経験を活かした授業を行う。					
(3)達成目標（一般学習目標GⅠO）	・臓器別手術に伴う一般的な麻酔リスクと安全な麻酔管理に必要な知識を習得する。 ・臓器別手術に伴う一般的リスクを理解し、安全な周麻酔期看護を行うための知識を習得する。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・臓器別手術に伴う一般的な麻酔リスクと安全な麻酔管理に必要な知識を学ぶ。 ・臓器別手術に伴う周麻酔期看護について学ぶ。					
(5)授業計画	1. 疾患別麻酔管理概論 2. 代表的脳神経疾患手術と麻酔（1）開頭術 3. 代表的脳神経疾患手術と麻酔（2）park bench position手術 4. 代表的運動器疾患手術と麻酔（1）脊椎・脊髄手術 5. 代表的運動器疾患手術と麻酔（2）関節置換術 6. 代表的な呼吸器疾患の手術と麻酔（片肺換気を行う手術の術中管理） 7. 代表的な循環器疾患の手術と麻酔（1）（ステントグラフト, AAA等血管置換術）＊DAAを除く。 8. 代表的な循環器疾患の手術と麻酔（2）（人工心肺等補助循環を伴う手術の術中管理） 9. 代表的な消化器疾患の手術と麻酔（内視鏡下手術含む） 10. 代表的な腎・泌尿器疾患の手術と麻酔（Da Vinci手術含む） 11. 口腔内手術と麻酔（形成外科, 歯科口腔外科） 12. 感覚器疾患手術と麻酔(眼科, 耳鼻科) 13～15. まとめ, 補足 ＊ 医学科「救急・麻酔・外傷」の一部を受講する。					
(6)授業の進め方	講義を中心とするが、課題を提示し、学生が調べた内容についてプレゼンテーションを課す場合がある。 医学科4年系統講義(麻酔科)の中で指定された講義を受講する。時間割は医学科シラバスを確認する。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	講義内容の復習を適宜行う。					
(8)成績評価の方法	プレゼンテーションの内容, レポート, 参加度を総合評価し, 60%以上を合格とする。					
(9)成績評価の基準	試験の場合, 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある:良」, 応用問題が解ければ「やや上にある:優」, やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある:秀」と判断する。 レポートやプレゼンテーションについては, (i) 課題のまとめ方の内容や発表内容から問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, (i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある:秀」, 4項目までできていれば「やや上にある:優」, 3項目までできていれば「水準にある:良」と判断する。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問, 相談への対応	質問、相談については適宜対応する。メールも可能。 麻酔科代表: masui@shinshu-u.ac.jp ・周麻酔期看護学生対象科目。 ＊内容が変更になることがある。					
【テキスト, 教材, 参考書】	日本麻酔科学会・周術期管理チーム委員会編: 周術期管理チームテキスト第4版、公益社団法人日本麻酔科学会 その他、別途、指示する。					